

真しんに大志だいし有る者は、克よく小物しょうぶつを勤め、真しんに遠慮えんりよ有る者は、細事さいじを
ゆるがせゆるがせ 今人率こんじんおおむね口くちに多忙たぼうを説く。其の為そす所な、実じつ事を整頓せいとん
忽じゅうにせず。今人率いちにね口かんじに多忙りようりを説く。其の為じゅうす所はちく、実また事を整頓かんじ
するもの十じゅうに一二。閑事かんじを料理りようりするもの十じゅうに八九、又閑事またを認め
て実きび事こころざしと為す。宜うべなり其の多忙たぼうなるや。緊きびしく志こころざしを立てて之を
求めば、薪たきぎを搬はこび水みずを運はこぶと雖いえども、亦是またれ学がくの在ある所ところなり。志
の立たざれば、終日しゅうじつ読書どくしょに従事じゅうじするとも、亦唯まただ是れ閑事かんじのみ。

【大体の意味内容】

真しんに大いなる志こころざしを抱いだく者は、小ちいさなことにしても雑ざつな対応たいおうをせず丁寧ていねいに勤つとめる。真しん
に遠大えんだいなる思慮しりよを働はたらかせる者は、些細ささいなことについても決けつしてゆるがせにはしないものだ。
今いまどきの人ひとはやたらと「忙しい、忙しい」と言いって本ほんも読よもうとしない。しかし彼ら
のしていることを見ると、実じつ際に必要ひつようなことをしているのは十じゅうのうちの一いち、二ににすぎない。
つまらない仕事しごとに対処たいしよし、仕上しあげようとするものが十じゅうのうち八はち、九きゅうもある。そしてその
くだらないことほど、重視じゅうししてばかりいる。「忙しい」とは「心こころ」が「亡なくなる」と書かく
が、たしかに人間にんげんらしい心こころを亡うしなっているといえよう。志こころざしを立てて、己おのれの進すすむべき道みち
を求めれば、たとえ薪たきぎや水みずを運はこぶことにも学まなぶべきことはあるものだ。しかし志こころざしを立て
てなければ、一日いちにち中本じゅうほんを読よんではいても、それは無駄むだなことにはすぎない。

「現代の事か」と思うようなお話です。パソコンやインターネット、オンラインでの仕事など、世の中ほとんど便利になり、さまざまなお仕事が一瞬でできるものになっていくのは、一向に雑事が片付かない、「忙しい」は大人だけでなく子供たちの口癖でもありますね。けれど「

